

142掘削用機械を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	13 ～ 14	現場から作業終了後、建築機械を移動させる際に、隣接する道路に駐車してあった移動車両に重さ12,800kgの建設機械を積み込む作業を行っていた。作業が完了し、建設機械から降りる際に後ろ足を滑らせて体勢を崩し、高さ1m～1m50cmの高さから地面に落下し左寛骨臼を折った。	44	1	40301	1～ 9
2	2020	1	14 ～ 15	会社資材置き場で古いU字溝（長さ2m、重さ約50kg）の処分作業中、同僚がバックホウでU字溝を吊り下げ、ダンプの荷台に積み込もうとしたところ、U字溝に泥がついていたためフックが外れて落下し、片側から地面に落下後、縦方向に転がり、U字溝が右腕に当たり、創傷を負い、骨折した。	72	6	30199	10 ～ 29
3	2020	1	8 ～ 9	土場で、トレーラー上のバックホウを降ろす際、動き出したバックホウに右手を踏まれ骨折した。	69	7	30106	10 ～ 29
4	2020	1	15 ～ 16	土場で片付け作業中、重機の排土板を走って超える際、地面がぬかるんでおり、滑り排土板に左足甲が挟まれ、左足示指を骨折した。	27	3	30202	1～ 9
5	2020	1	11 ～ 12	資材置き場で残土の積み込み作業中、他の作業者が操作するバックホウのアームバケツが頭部に当たり、頭部打撲、頸椎捻挫を負った。	29	6	30309	10 ～ 29
			14	外構工事に使用する材料（180×50×13.5cm）をクレーン付ミニ				

6	2020	1	15	バックホウで吊り、両端を2人で持って移動中、吊荷が縦向きになってタイミングが合わず、左足をバックホウのキャタピラに踏まれ左足関節を骨折した。	59	6	30199	1 9
7	2020	1	13 14	作業場で材料を片付けていたところ、停めていたバックホウキャタピラ部分に左足が接触し、左下腿圧挫傷、左腓腹筋挫傷および左下腿皮膚剥離創を負った。	63	3	30199	10 ～ 29
8	2020	2	13 14	作業所前側溝入れ工事をするとき、バックフォアをトラックから降ろす際に、橋げたに載せたら、下駄が外れてバランスが崩れ、バックフォアとともに落下して、右足甲がバックフォアの下になって負傷した。	36	7	30199	10 ～ 29
9	2020	2	8 9	仮置き場から現場内へ移動中に、バイブロコンパクターのハンドルを押さえながらバックホーとともに移動しているとき、前方にDTがいたので一時停止した。そのとき、重機の作業車線内に立ち入っており、吊り荷を掴んで移動した際、バックホーのオペレータとのやり取りが不十分だったため、バックホーが再発進したときに足を轢かれ左足舟状骨骨折を負った。	54	7	30110	10 ～ 29
10	2020	2	17 18	会社構内でコンテナ内のごみを平らにならす作業中、何らかの理由でパワーシャベルが後退し、右手薬指を骨折した。	49	6	30199	1 ～ 9
11	2020	2	7 8	道路管理課の指導の元、道路の補修用に3m20cmの鉄板をパワーシャベルアーム部に抱えて自走中、被災者がパワーシャベルアームの5m以内に入り込んだため、急ブレーキを掛けた。その際、パワーシャベルアームより鉄板が被災者の頭部に落下し、脳挫傷を負い、死亡した。	24	4	170209	1 ～ 9
12	2020	2	11 12	埋め戻し作業中のバックホウ移動時、敷鉄板（1.5m×6.0m）がキャタピラに挟まった。そのとき、オペレーターはそれに気付き、前進させたため、敷鉄板が近くにいた被災者の左足に乗り、左脛骨および左第4趾を骨折した。	45	7	30201	1 ～ 9

13	2020	2	9 ～ 10	現場で、ハンドローラーを吊り上げる誘導作業中、3tダンプカーに当たり倒れ、左膝打撲、左腿部挫傷を負った。	66	4	170201	50 ～ 99
14	2020	2	17 ～ 18	会社倉庫で次の日の作業準備のため、同僚と2人でユンボの爪を交換していた際、左手中指がユンボの爪に挟まり、爪の生えている箇所より先の部分を切断した。	22	7	30199	1～ 9
15	2020	2	8 ～ 9	災害復旧工事現場でユンボに乗る際、足をキャタピラーに置いたところ滑って宙吊り状態になり、右肩腱板を断裂した。	67	19	30203	10 ～ 29
16	2020	2	12 ～ 13	現場に入ろうとしたところ、前方から重機が降りてくるのが見えたため、見通しが良いところに退避した際、足を踏み外して転倒し左橈骨遠位端を折った。	30	2	60201	10 ～ 29
17	2020	3	16 ～ 17	本船荷役終了後、使用したドラグショベルのエンジンボックス上で、コンプレッサーを使用して清掃作業を行っていた。そのとき、ダストで足下が悪い状況で、コンプレッサーノズルからエアを出した際、エアの勢いに押され約21mの高さから後ろ向きに落下して背中を強打し、第12胸椎破裂骨折、第6・9胸椎圧迫骨折を負った。安全帯を装着していなかった。	54	1	50201	50 ～ 99
18	2020	3	10 ～ 11	工場内にてパワーショベルで処理作業を行い、パワーショベルから降りようとした際に、キャタピラから地面に飛び降り、左足のアキレス腱を断裂した。	43	3	11009	50 ～ 99
19	2020	3	9 ～ 10	配水管埋設工事で他の作業員がバックホウで掘削中、穴の深さを確かめようと重機に近付いたところ、重機のバケットと地面の間に右足を挟まれ右1、3、4、5趾骨を折った。	45	7	30201	1～ 9
20	2020	3	15 ～ 16	工場内で重機の点検作業中、ゴムキャタピラの上に掛けていた右足が滑って、約60cmの高さから落下して転倒し、右足大腿骨を折った。	69	1	11209	10 ～ 29

29	2020	4	8 ～ 9	畑法面の土留め作業のため、重機を使用し杭打ちをしていた。そのとき、杭頭の高さを、水糸を用いて確認する際、重機バケットと杭に指を挟まれ、右手人差し指に骨折、裂傷を負った。	67	7	30199	～ 29
30	2020	4	11 ～ 12	本社で片付け作業のため、フレコンをダンプトラックへ積み込み作業中、手元が滑ってフレコンとダンプの側面に右手薬指を挟み骨折した。	18	7	30199	～ 49
31	2020	4	10 ～ 11	掘削作業を重機にて作業中、重機を旋回させるため、誘導員（負傷者）が指示を行っていた。そのとき、他作業員が周辺にいたので、誘導員が前進して近付き注意した。その後、後退して元の位置に戻るとき、コンクリート製の升につまずいて転倒し、右足（足甲）を骨折した。	38	7	30209	1～ 9
32	2020	4	8 ～ 9	ダンプからバックホウを降ろす際、道板が地面に食い込み、バックホウが前に傾いた。その際、バックホウの運転席にいた被災者が地面に落下し、肋骨を折り、首の骨にひびが入った。	60	1	30202	1～ 9
33	2020	4	15 ～ 16	下水道管布設替工事中、開削部で新設した下水道管の埋め戻し材を敷き均していた。開削部の路肩に右手を置いた際、埋め戻し材を投入していたバックホウのキャタピラに轢かれ、打撲傷と挫創を負った。	52	7	30110	1～ 9
34	2020	4	10 ～ 11	事務所敷地内で、剪定枝の片付け中、バックホー重機に乗りキャタピラの下に丸太（直径15cm）が入り、重機が不安定となり飛び降りた際、左足を骨折した。	54	1	30109	10 ～ 29
35	2020	4	11 ～ 12	駐車場整備工事で、パワーショベルで土間コンクリートを撤去作業中、コンクリートがうまく捲れないので補助しようとした際、パワーショベルの先が右足に当たって第3、4趾を開放骨折した。	71	6	30199	1～ 9
36	2020	4	13 ～ 14	山留工事で、ミニバックホウにより搬入された土を均す作業を行っていた。被災者は、歩行者の誘導を行っていた際、通行してきた大型車両を避けるため後ろに下がったところ、均し作業中のミニバックホウに左足首を轢かれて骨折した。	24	7	30201	1～ 9

37	2020	4	10 ～ 11	ミニバックホウのエンジンオーバーヒートを点検中、ラジエーターキャップを開けた際に冷却水が噴き出し、右手と右顔面に熱傷を負った。	35	11	11509	10 ～ 29
38	2020	4	13 ～ 14	土場に隣接する歩道（赤線）で、歩道整備中、作業で発生した小石を除去するため、バックホウを使用しバケットを落差3.5m下の歩道に置き投入していた。オペレーターがバケットを若干上げた際、下方に死角があり見えないためバックホウを前進させた。その際、バケットは水平な動きになり、近辺に立っていた被災者は退避が遅れ、バケットと歩道橋にあった転石の間に挟まれ、骨盤を折った。	51	7	30106	1～ 9
39	2020	5	13 ～ 14	公園駐車場造成工事現場で、仮設敷鉄板（3m×1.5m、重さ0.8t）を移動させていたとき、手元作業をしていたら、敷鉄板に足を挟み、右足甲を骨折した。	70	6	30199	1～ 9
40	2020	5	10 ～ 11	新築工事の収集現場で、収集作業終了後、監督にサインをもらうため、立ち入り禁止区域に入ったとき、狭い道から一般車がきて、それを避けようとした際、後方からバックしてきた重機に左足首を轢かれて、左脛骨を折った。	29	7	170209	100 ～ 299
41	2020	5	8 ～ 9	バックホウ（0.45クレーン付）で、敷鉄板を移動しようと、敷鉄板へフックを掛け、吊り上げたときに、バケットフックに左手が挟まれて、左手中指および薬指、人差し指に裂傷を負った。	19	7	30106	10 ～ 29
42	2020	5	8 ～ 9	砕石が敷いてある現場で、材料運搬中の重機につまずいて、左足首から膝までを、重機のキャタピラに強く打ち、左足首と膝を打撲した。	78	3	30209	1～ 9
43	2020	5	14 ～ 15	災害復旧工事の現場で、積み上げられた土嚢袋を重機により引き抜くため、重機の爪の先に袋の紐を掛けようとしたところ、うまく引っ掛けることができずに重機のバケットが動いた。その際、場所がコンクリートの壁際だったため、左手人差し指を重機のバケットとコンクリート壁の間に挟まれ、右手人差し指に裂傷を負った。	56	7	30199	1～ 9

44	2020	5	13 ～ 14	会社の倉庫前で、重機で雑木を整理していたとき、近くで手元作業 をしていた被災者が、バケットと台木の間に左手薬指を挟んで裂傷 を負った。	34	7	30199	～ 29
45	2020	5	16 ～ 17	車両置場で、1人が油圧ショベルを操縦し、被災者がバケットシリ ンダーのロッドのピンをH型リンクに合わせようとした。被災者の 合図でロッドを伸ばしていたとき、ロッドとリンクの間に右手が挟 まれ、中指を骨折し、薬指に挫創を負った。	32	7	11702	1～ 9
46	2020	5	9 ～ 10	護岸工事で、平板ブロックの仕上面の凹凸調整を重機で作業中、バ ケットの背とブロックの間に右手人差し指を挟み、挫創、皮膚欠損 を負った。	51	7	30107	1～ 9
47	2020	5	11 ～ 12	顧客先宅で、L型擁壁の据付作業中、足下の地盤が軟弱だったた め、傾いて重機ごと転倒した際、頭蓋骨陥没を負った。	71	2	30109	1～ 9
48	2020	5	16 ～ 17	リースセンター内で、ミニショベルで接地面より上昇させ、運転席 より降りると同時に、ミニショベルが左側に転倒し、屋根と地面と の間に挟まれ、肋骨を折った。	47	7	80409	10 ～ 29
49	2020	5	9 ～ 10	現場で、H鋼の上に敷鉄板を設置作業中、バックホーで吊り上げた 敷鉄板の両端がH鋼に着地したのを確認後離れようとしたところ、 吊荷が完全に静止していない状態だったため、敷鉄板が滑り、土と 敷鉄板に右足が挟まれ関節脱臼骨折を負った。	64	7	30107	1～ 9
50	2020	6	9 ～ 10	鉄板を別の場所に移動するために、パワーシャベルで吊り上げた 際、鉄板が動いてしまうので押さえていたが、想定以上に鉄板が動 いて、パワーシャベルと鉄板の間に左脹脛が挟まれて外傷を負っ た。	45	7	30201	1～ 9
51	2020	6	8 ～ 9	朝礼・KY活動後に、整理していた重機をそのまま後退させた とき、重機の前が少し浮いたので、旋回してバランス回復を試みた が、右前方のキャタピラが傾き、そのまま右側を下に転倒した。そ の際、体をかばうため、右手を手すりおよび窓ガラスにつき右腕を	38	2	30209	10 ～ 29

				骨折した。				
52	2020	6	13 ～ 14	工事現場で仮設防護棚の撤去が終わり、道路上の敷鉄板（1.5m×3m、800kg）を重機で側溝側に移動していた。その際、被災者が作業半径内に入り、鉄板と道路の隙間に右足を挟んで骨折した。	22	7	30199	10 ～ 29
53	2020	6	11 ～ 12	配水管布設工事現場の歩道で、バックホウで既設管（Φ350mm）の撤去作業中、既設管が割れ、反動でバックホウが揺れ、既設管が落下した。このとき、左足に当たり、左第5中足骨を折った。	29	6	30110	1～ 9
54	2020	6	10 ～ 11	圃場整備工事現場で、バックホウのキャビン上で破損箇所の確認を行っていた際、油で足を滑らせ、高さ2.5mから転落して骨盤を折った。	70	1	30109	10 ～ 29
55	2020	6	15 ～ 16	バックホーを使い電柱を引き抜き倒そうとしたところ、作業者に倒れかかり、頭部外傷性気脳症で死亡した。	56	5	30301	1～ 9
56	2020	6	11 ～ 12	バックホーで埋め戻し作業中、掘削した仮置き土砂の段差部分に誤って進入し、バックホーがバランスを崩して横転した。その際、運転席から投げ出され、肘を強打し、右肘関節を脱臼骨折した。	44	1	30201	30 ～ 49
57	2020	6	10 ～ 11	伐採したサトウキビを集積するため、アタッチメントの交換作業中、バックホーのアームとバケットの間に手を入れた状態で、バックホーが動きアームが下がり、右手小指が挟まれ開放骨折した。	25	7	30209	1～ 9
58	2020	7	11 ～ 12	当社敷地内重機置き場で、油圧ショベル（総重量13トン）の運転席から降りようと、キャタピラに足を掛けたところ、足を滑らせ、着地した際に左足首に靭帯損傷を負った。	30	2	80409	10 ～ 29
59	2020	7	5 ～ 6	給油場でホイールバックホウに給油後、機械から降りようとしたとき、ガイドパイプを掴んでいた左手が滑り、不安定な姿勢で着地し、右膝前十字靭帯断裂および右膝内側側副靭帯損傷を負った。	43	1	11702	10 ～ 29
			15	工事現場で、バックホウ（45?級）で大型土のうを吊っていた際、				30

60	2020	7	16	仮置き場から床固め工施工箇所へ旋回中、バランスを崩して横転し、頸椎を折った。	58	2	30199	～	49	
61	2020	7	16	調整池工事現場で、ブロック積工で余ったブロックを置き場に戻す際、ブロック（400mm×250mm×350mm）7個を吊り具で吊っていた。その際、ブロックが傾いて吊り具から外れそうになったので、他の作業員が重機を操作したところ、吊り具がブロックにはじき返され、近くにいた被災者の胸部に接触して骨折した。	28	6	30107	1～	9	
62	2020	7	17	道路脇で、立木伐採作業中、小型重機で直径5cmの枝をホークで挟み旋回した際、枝が左胸に当たり、左肋骨を折った。	71	6	30309	1～	9	
63	2020	7	11	現場で、木を伐採して道路に飛び散った木殻の片付中、バックホーで挟んでいた木の幹が旋回して被災者の後頭部を強打して、勢いよく前に倒れて地面に顔面を打ち、右前頭骨を折り、鼻唇溝挫創を負った。	59	6	30106	10	～	29
64	2020	8	12	峠の建設現場に軽油配達に行き、重機に軽油を給油する際、軽油を積んだローリーに繋がった給油ホースを持ちながら、重機のキャタピラ部分に片足を掛け、上部に上がろうとしたとき、雨が降っていたため足が滑り、地面への着地のとき右足首をひねり、靭帯断裂を負った。	50	1	80209	50	～	99
65	2020	8	16	作業場と倉庫の片付けをしていたとき、倉庫の廃材をショベルカーのハサミに差し出した際、廃材と一緒に左手が挟まれて、左手の甲を骨折した。	35	7	30309	1～	9	
66	2020	8	14	駐車場でパワーシャベルのシャベル部品（バケット）の取り付け作業中、バケットを固定するピンをハンマーで叩いたところ、ピンの破片が飛んできて眼に刺さり、左眼に裂傷を負った。	47	4	80209	1～	9	
67	2020	8	11	社内で作業中、パワーシャベルから後ろ向きに降りる際、段差で足を踏み外し、左足をひねり、靭帯損傷を負った。	34	19	80409	10	～	29

68	2020	8	13 ～ 14	現場で高さ1.2mのブロック塀を、バックホー（0.25?）で引き倒す作業をしていたとき、隣にいて、避けきれず、右足首にブロック片が当たり、右足関節脱臼骨折、右腓骨骨幹部を折った。	28	5	30309	1～ 9
69	2020	8	14 ～ 15	車道上での片側交互規制の中で開削作業（バックホー使用）を行っていたとき、バックホーの死角である右後方に無断で立ち入り掃き掃除を行っていた。その際、バックホーオペレーターが後進するため、後方確認を行ったが、不十分な状態で後進したため、足の甲を轢かれ、左足中骨骨折および右足打撲を負った。	21	6	30110	10 ～ 29
70	2020	8	14 ～ 15	新築基礎工事中、油圧ショベルから降りようとしたとき、服の袖に安全レバーが引っ掛かり、振り解いたときに、安全レバーが外れ、右足で前進レバーを蹴って、動き出して、キャタピラに轢かれ、左足を骨折した。	54	7	30201	1～ 9
71	2020	8	13 ～ 14	資材置場で足場資材をトラックに積み込み作業中、バックホウで吊り上げた単管の束（約20kg）に右手を添えて降ろしていた際、トラックのアオリ板との間に中指が挟まれて骨折した。	43	7	30199	1～ 9
72	2020	8	15 ～ 16	増築現場で、バックホーに鋼材を降ろす作業の間、交通誘導に従事していたが、バックホーの後進に気付くのが遅れ、バックホーのキャタピラーに右足が接触し、右足下部骨折、裂傷を負った。	74	7	170201	50 ～ 99
73	2020	9	13 ～ 14	工事現場で、トレンチャー（暗渠堀削機）の泥吐き出し部分に溜まった泥を取り除く際、手元を回転しているカップに泥を取る道具が入り込み、跳ね返って下顎に当たり骨折した。	25	6	30109	30 ～ 49
74	2020	9	10 ～ 11	出張先倉庫で作業中、鉄板が移動中に外れて飛んできて足にぶつかり右中足骨を折った。	67	4	40301	30 ～ 49
75	2020	9	17 ～ 18	敷地内で、2tアームロール車の荷台から荷降ろし中、選別作業中に旋回したパワーシャベルのアタッチメント部に接触し、荷台から落下し、多発性左腰椎横突起骨折および第11胸椎横突起骨折を負っ	28	6	170101	10 ～ 29

84	2020	10	14 ～ 15	ドラグショベルで作業道の開設を行っていた際、ドラグショベルごと谷に転落し、外傷性ショックにより死亡した。	72	1	60209	1～ 9
85	2020	10	17 ～ 18	工場内で、油圧ショベルのキャビンに鍵をかけ、ステップから地面に降りた際、右手を手摺に挟み右手薬指第1関節に切傷を負った。	27	8	11701	10 ～ 29
86	2020	11	8 ～ 9	機材センターにて油圧シャベル（クローラ式）で、11tダンプに砕石を積み込み完了後、降車する際、油圧シャベルに背を向けて昇降用ステップに左足を掛けたとき、ステップが凍っていたため足を滑らせて、高さ約1mより地面に落下し、左肘を骨折した。	65	1	30199	10 ～ 29
87	2020	11	15 ～ 16	プラント内で、パワーシャベルのバケットを地上15cm位まで上げた状態で中に乗り込み、1人でバケットの交換をしていた。そのとき、左足から先に下りたと同時に脱落し、幅116cm、重さ655kgのバケットが左足の安全靴の、芯の入っている部分と入っていない部分のつなぎ目付近に落ち、左足の指3本を骨折した。	37	7	30199	10 ～ 29
88	2020	11	16 ～ 17	ダンプ後ろ側に粘り気のある腐葉土が付着していたため、取り除こうと入り込んだ際、ドラグショベルを操作していた作業員がそれに気付かず作動させてしまい、旋回したドラグショベルの胴体後部とダンプ後部に挟まれて肋骨4本を折った。	53	7	30109	1～ 9
89	2020	11	16 ～ 17	施工中、U字溝据え付け中（レベル調整）パワーショベルバケットとバタ角の間に右手を入れて挟まれ、右手先指に挫創を負い、骨折した。	55	7	30201	1～ 9
90	2020	11	16 ～ 17	資材置き場に置かれた土砂を、バックホーを使用して整理作業時、バックホーから降りた際、石を踏んでバランスを崩して転倒し、地面で左肩を強打し、肩腱板断裂を負った。	56	2	30199	1～ 9
				歩道内で作業をしていたため、車道側に歩行者通路の規制帯（単管バリケードとH鋼ガードレール）を設置していた。作業終了後の規制復旧作業で、バックホウを規制内で移動させる必要があった。そ				

91	2020	11	16 ～ 17	のとき、通過できる幅がなく、被災者が誘導しながら単管バリケードを一本広げることによりバックホウを前進させていた。その際、オペレーターが進行方向右側の単管バリケードに気を取られ、左側にいた被災者に接近しすぎて、左側のキャタピラーに右足が接触し、右足を骨折した。	22	5	30106	10 ～ 29
92	2020	11	7 ～ 8	敷地内で、ショベルカーの中を清掃するため、ショベルカーの階段を上っている際、つまずき転倒した。このとき、タイヤとホイールに鼻を打ち、鼻骨を折り、顔面挫創を負った。	20	3	50101	1～ 9
93	2020	11	11 ～ 12	工事現場で、重機を2tダンプに積込作業中、バランスを崩して転倒し、左手首部が挟まれ、左多指不全切断を負った。	47	2	30199	1～ 9
94	2020	11	15 ～ 16	小型バックホウで遊歩道の整備中、90度旋回しようとした際、バランスを崩して横転し、投げ出されて左足甲を骨折した。	41	2	30199	1～ 9
95	2020	11	16 ～ 17	木造建屋解体工事現場で、解体後の整地中、重機のバケット下に石を投げる作業をしていて、被害者がオペレーターの作業を止めずに、右足で石の位置をずらしたとき、バケットと石の間に挟まれ右足親指を骨折した。	21	7	30209	1～ 9
96	2020	11	10 ～ 11	下水道移設工事で、軽量矢板をバックホウで押し込みしていた際、バスケットが滑り頭に当たり、頸椎頸髄損傷を負った。	47	6	30110	1～ 9
97	2020	12	8 ～ 9	産廃処分場で、油圧ショベルで分別作業中、降りる際に足を滑らせて転倒し、左足に打撲、左膝にヒビを負った。	67	1	150102	10 ～ 29
98	2020	12	14 ～ 15	現場で、配水支管移設作業中、鋳鉄管を切断するため吊り上げた際、道路側の縁石と鋳鉄管との間に、左足を挟まれ、左踝を骨折した。	40	7	30309	10 ～ 29

99	2020	12	8 ～ 9	重機（バックホウ）をトラックに積み込んでいた際、雨で荷台とキャタピラが濡れていたため横滑りを起こし、再度積み込みを行っていたところ、重機が転落して左足が下敷きになり、不全切断を負った。	53	1	30106	1～ 9
----	------	----	-------------	--	----	---	-------	---------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年) に戻る。